

## 本時のねらい

・膝や足先、指先を意識して伸ばすことができるようになる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・iPadのカメラ機能を使い、自分の膝や指先などを拡大して確認したり、スローで見たりして、細部までこだわって取り組むことができる。  
・見本と自分の動きの違いを見ることができる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ iPad      ・ カメラ機能      ・ 録画機能

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動、マットの準備をする。</li> <li>○本時の課題を提示する。 「膝、指先、足先をピン！と伸ばして回転しよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動画を見せながらポイントを説明する。</li> <li>・膝を伸ばして回転すること</li> <li>・指先を伸ばすこと</li> <li>・足先を伸ばすこと</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各自の課題に合わせて、レベルアップできるよう練習する。</li> <li>○友だちに見てもらいながら練習する。</li> <li>○各自の課題に合わせて繰り返し練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○録画機能のスローなどを使いお互いを撮影しあい、必要に応じてアドバイスをする。</li> <li>○お手本となる動画と自分の動画を照らし合わせながら練習し、動きを確認する。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○片付け、けが等の有無を確認する。</li> <li>○本時の振り返りを行う。</li> </ul>	

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：得意な生徒の動きと自分の動きを照らし合わせ違いを確認している様子



写真2：動画を確認したあと、自分の課題に合わせて後転を練習する様子



写真3：細かな部分にも着目しながら、自分の課題を再度確認する様子

## 児童生徒の反応や変容

・自分が思っていた以上に膝が伸びていないことや、回転のスピードがないことを客観的に見て気づくことができた。  
・スローモーション撮影ができるので、見たいポイントを何度でも再生することができ、マット運動が苦手な生徒も視覚的に理解することができた。  
・iPadで撮影した動画を見ながらポイントを教え合う姿が多くみられた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・小学校でも取り組んでいる実践だが、中学校では生徒が、より意図をもって撮影するようになり、課題が明確になった。  
・動画を使い、自分の動きを何度も確認することができるので、中学生でも効果的な活動であった。  
・動画を撮る人、練習をする人と役割が分かれているので、改善点を教え合うなど協働的な学びを実現していた。